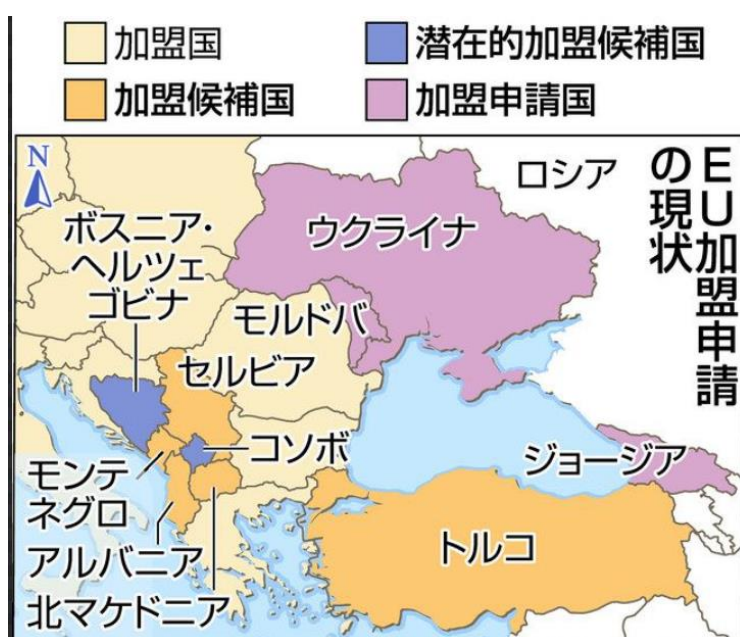


## ウクライナ・モルドバの EU 加盟交渉入り（547号）

2023年 12月 石館

EU は12月14－15日の首脳会議でウクライナとモルドバの正式な加盟交渉をすることで合意した。ロシアの侵攻を受けているウクライナのゼレンスキー大統領は“国民の励みになる”と歓迎している。ただウクライナへの2024年から4年間で500億ユーロ（約7兆8000億円）の資金支援はハンガリーの反対に拒まれて合意できず判断を先送りした。



15日までの首脳会議ではウクライナやモルドバのEU加盟交渉の開始、ジョージアに加盟候補国の地位を与えることなどが決まった。

最大の焦点であったウクライナの加盟交渉の開始は全会一致の承認が必要だったが反対していたハンガリーのオルバン首相

が採決直前に離席、棄権扱いとなり、残り26カ国の首脳による全会一致で交渉開始が決まった。

EU加盟候補国は、法の支配から経済まで幅広い基準の順守が求められるため、国内で一連の改革法案を通過させる必要がある。だがEU執行部は既にウクライナ政府が司法と汚職への取り組みを90%以上完了させたと讃えている。ドイツのショルツ首相は、加盟国が“支持への強い意志”を示したことを称賛。ウクライナとモルドバが“欧州の家族”の一員なのは明らかだと述べた。

EUの中で一頃存在感が薄れてきたと見られていたドイツショルツ首相は、外交筋によると、決議のためオルバン氏に退場を促したのはショルツ氏の提案

だったようで、今回の決定に大きな役割を果たしたようだ。EU加盟交渉には数年かかる可能性もあり、今回の決定はウクライナの加盟を保証するものではない。だが22か月に及ぶロシアとの戦争と、欧米からの軍事・財政援助の確保に苦闘を続けているウクライナにとっては、待望の朗報であろう。



欧州とウクライナ結束、モルドバも支援... 欧州共同体会議に ...

ウクライナのゼレンスキー大統領とモルドバのサンドゥ大統領

ロシアのペスコフ大統領報道官はEUがウクライナとの加盟交渉を始めると決めたことについて“ロシアを不快にさせる”ための政治的決定だと反発した。

ロシアは表面的にはウクライナのEU加盟には反対していないが、交渉の進展を阻もうとする可能性がある。ペスコフ氏は15日記者団にウクライナとモルドバ、ジョージアの旧ソ連3カ国のEU加盟交渉入りについて、各国の状況は加盟基準に程遠いとの見方を示した。交渉には“何年も何十年もかかる可能性がある”とも指摘した。

ロシアは安全保障上の強い懸念から、ウクライナのNATO加盟には断固として反対してきた。一方経済統合を柱とするEUへの加盟交渉に関しては“ウクライナと欧州諸国の問題だ”表面的には静観してきた。ただロシアは本音ではEU加盟交渉に強い懸念を抱く。

今回のEUサミットでは、モルドバとも正式な加盟交渉を開始することに決まったが、ウクライナとモルドバとはほぼ同時に加盟申請したジョージアは、加盟候補国として承認されただけである。加盟候補国のボスニア・ヘルツェゴヴィナについては、来年3月に再度、加盟条件の順守状況を検討したうえで、交渉開始の決断を下すとしている。EUの新規加盟は13年のクロアチア以降、実現していない。交渉開始後、ウクライナは“アキ・コミュニテール”と呼ばれるEU法体

系を取り入れる。金融や知的財産保護、税制といった35の政策分野ごとにEUと交渉し、アキを適用するための国内法改正や行政改革を進める。



左からジョージア、ウクライナ、モルドバの国旗

こうした行程に、10年程度時間がかかるとみられる。その後の最終的な加盟決定にも、既存の全加盟国による承認がある。このような承認条件は特定の国による恣意的な反対で前に進まなくなる可能性があり、EUとしては多数決など、何らかの条件緩和を検討しようとしている。しかしこれもハードルが高いであろう。

ジョージアは加盟候補国にとどまり、加盟交渉の開始とはならなかった。2008年ロシア連邦がジョージアに軍事侵攻しジョージア北部の南オセチアとアブハジアの独立を一方的に承認。日本は侵攻を受けてロシアと国交断絶したジョージアの要請により、2015年までの国名呼称グルジアからジョージアに変更した。

ジョージアは日本の国土の約5分の1、人口400万弱の小国である。日本の大相撲で大関までなった栃ノ心はジョージア出身である。ジョージアは米国のジョージア州と全く綴り発音も同じであるが、米国のジョージア州と何の関係もない。ジョージアは何故加盟候補国に留められたのであろうか。その原因の一つに蔓延する汚職ではないか。

現在ジョージアとロシアの国境は、ウクライナ侵攻への動員を逃れようと、兵役対象年齢のロシア人男性がジョージアに大挙して押し寄せるようになった。ロシア人はビザなしで入国し最長1年間滞在できる。ジョージア入国の道路は凄まじい渋滞である。ただこの渋滞はジョージア側の警察による意図的に渋滞を起こし、早く入りたい人からワイロを取っているらしい。また選挙制度と司法改革でさらに改革が必要とされている。

モルドバのサンドゥ大統領は、ウクライナとEU加盟への道を共有できたこと

を光栄に思うと発言。“ロシアの残忍な侵略に対するウクライナの勇敢な抵抗なくして、今日の我々の姿はなかった”と述べた。昨年2月にロシアがウクライナに侵攻して以来、モルドバは、ロシア政府がスパイ行為や国内の反対勢力の支援を行っているとは非難している。

ウクライナ、モルドバがEUに加盟するまで小生の命があるか分らぬが、それ以前に、欧米のウクライナへの支援疲れでウクライナの国体が果たして維持できるのか心配になる。

P.S.

この547号で本年最後のレジメとなります。本年も異常気象による熱波や集中豪雨など過去にない自然災害や、イスラエルとハマスの戦闘など思いもかけない事が起きました。レジメに書く題材は尽きませんが、資料の調査、文章の構成を考えるのが億劫になってきており、また自分なりの意見も後で読むとかなりおかしいものがあり、そろそろ辞め時かなと思ったりしています。

本年も皆様のコメント、励まし有難うございました。よいお年をお迎えください